

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月30日(水)

事務事業		「論語の里」施設管理活用事業		担当課	渋沢栄一記念館	担当係	渋沢栄一記念館	管理番号	6207	
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	誰もが生きがいをもち学ぶことのできるまちづくり		根拠法令 個別計画等	文化財保護法、埼玉県文化財保護条例、深谷市文化財保護条例、「渋沢栄一翁と論語の里」整備活用計画				
	小項目	2	郷土の歴史・文化の継承と活用							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		「論語の里」エリア内に所在する文化財施設（旧渋沢邸「中の家」、尾高惇忠生家）を維持管理を行い保存、継承し、見学者に公開するなど活用を図るものである。								
目的 ※何のために		施設を維持管理し、保存、承継する。「論語の里」文化財施設の環境を整え、安全、快適に見学に提供する。								
対象 ※誰・何を対象に		旧渋沢邸「中の家」、尾高惇忠生家、施設見学者								
手段 ※どのように		施設維持管理委託、施設清掃、巡回警備、樹木管理委託、修繕・改修工事								
成果 ※何を求めるか		郷土の偉人を生かした取組が推進されるよう、市内外の人が郷土の偉人の業績に触れ、市の魅力を感じとり、論語の里エリアをはじめ深谷市への来場者数が増加する。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	10	教育費	5	社会教育費	5	文化財費	論語の里施設管理活用事業	17,240,550
本事業の 主な業務		・旧渋沢邸「中の家」、尾高惇忠生家の維持管理、修繕							・	
		・旧渋沢邸「中の家」、尾高惇忠生家の公開							・	
		・論語の里ガイドボランティアとの調整							・	
		・旧渋沢邸「中の家」主屋の構造補強及び改修工事							・	
		・文化振興課との連絡調整							・	
		・							・	

2. 事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		施設の維持管理 旧渋沢邸「中の家」主屋 の補強改修計画案作成	施設の維持管理 旧渋沢邸「中の家」主屋 の補強改修計画案作成	施設の維持管理 旧渋沢邸「中の家」主屋 の補強改修計画案作成	施設の維持管理 旧渋沢邸「中の家」主屋 の補強改修計画案作成	施設の維持管理 旧渋沢邸「中の家」主屋 の補強改修工事（休止）	施設の維持管理 旧渋沢邸「中の家」主屋の 補強改修工事 旧渋沢邸「中の家」主屋展 示整備
事業費	予算（現額）	20,915,000	44,539,000	100,750,000	197,137,800	159,426,000	329,591,000
	決算額	19,323,329	20,836,189	32,325,204	64,517,505	17,240,550	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	16,000	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	12,800,000	0	162,700,000
		他特定財源	111,158	106,708	70,400	87,962	77,069,000
	一般財源	19,212,171	20,729,481	21,525,204	51,647,105	17,136,588	89,822,000
人件費	従事職員数（人）	1.30	1.50	1.15	0.90	0.90	1.40
	人件費相当試算※	10,112,700	11,673,000	9,040,150	7,322,400	6,985,724	11,383,887
総事業費試算		29,436,029	32,509,189	41,365,354	71,839,905	24,226,274	340,974,887

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	旧渋沢邸「中の家」修繕件数	目標値	件							
		実績値		12	4	11	11	5	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			必要箇所の発生に応じて実施するものであるため、あらかじめ目標値は設定しない。						
	実績値の算出式									
活動指標 2	尾高惇忠生家修繕件数	目標値	件							
		実績値		2	1	5	4	7	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			必要箇所の発生に応じて実施するものであるため、あらかじめ目標値は設定しない。						
	実績値の算出式									
活動指標 3	エリア環境の整備（駐車場・標識・解説板）	目標値								
		実績値		0	0	3	1	3	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			必要箇所や不足状況の発生に伴い設置するものであるため、あらかじめ目標値は設定しない。						
	実績値の算出式									
成果指標 1	旧渋沢邸「中の家」見学者数	目標値	人	15442	16066	16387	30000	30000	30000	
		実績値		15067	12066	59274	43018	138397	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			前年度比2%増。但し令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止策のため見直し						
	実績値の算出式									
成果指標 2	尾高惇忠生家見学者数	目標値	人	6039	6283	6409	8000	8000	8000	
		実績値		5433	5196	16560	12449	65567	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			前年度比2%増。但し令和2年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止策のため見直し						
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	旧渋沢邸「中の家」や尾高惇忠生家について、修繕が必要な箇所の発生に対して、適切に修繕を実施することができた。 論語の里エリアにおける駐車場、標識、解説板について、必要なものを設置することを行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	新型コロナウイルス感染拡大の状況の中ではあったが、予約システムによる入場者数の管理、換気やアルコール消毒など、感染拡大防止策を講じつつ、多くの見学者が来場し、その受入れに対応することができた。 大河ドラマの放映時期と重なったことによる影響も大きいと考えるが、目標値を大きく超える見学者があった。
			評価者 渋沢栄一記念館長 澁澤武雄

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	両施設の維持管理作業について、各作業を委託業務により実施することで、効率的に運営できた。 尾高惇忠生家については、ガイドボランティアの体制との協働により、丁寧で十分な解説等ガイダンスを提供することができた。
			評価者 渋沢栄一記念館長 澁澤武雄

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	新型コロナの影響、大河ドラマ放送による見学者の劇的な増加というコントロールが極めて難しい状況に柔軟に対応しながら、ふたつの施設の改修・整備・維持を計画的に進める。
達成状況及び その効果	大河ドラマ放映による見学者の増加に対し、予約システムや丁寧な説明を通じて、人数のコントロールを行い、感染拡大防止策を講じつつ、見学に提供するなど適切に活用を図ることができた。耐震補強工事は、大河ドラマ放映時期に対応するため実施を延期し、このことにより見学ニーズに対応することができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	「論語の里」施設管理活用事業	担当課	渋沢栄一記念館	担当係	渋沢栄一記念館	管理番号	6207
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		各維持管理作業を委託業務により実施し、コストを抑えて維持管理しつつ、多数の見学者に対し公開し、活用を図ることができた。また、尾高邸についてはガイドボランティアによる市民協働での活用も実現でき、基本的に、この体制で運用を継続することが望ましい。次年度は、「中の家」主屋の耐震補強工事や展示作成するなど、公開内容の拡充を図る取り組みを行う。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	渋沢栄一政策推進部長 青木克尚				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	旧渋沢邸「中の家」については、主屋の耐震補強工事を実施し、また、主屋内での新展示を作成する。 尾高惇忠生家については、新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じつつ、見学環境を引き続き維持し、公開など活用を図っていく。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	「中の家」主屋内への見学者の受け入れを開始、展示を開始する。円滑な公開を行うための運営体制を構築し、運営する。 尾高惇忠生家について、よりよい見学の提供に向けて実施方策の構想を進める。

8. 評価指標グラフ

